



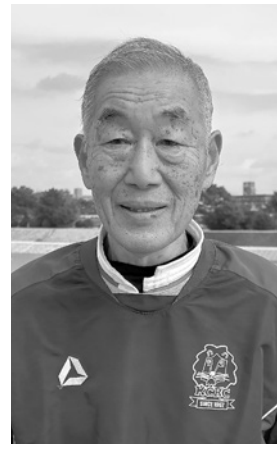
第358号
2024年5月1日
編集・発行
春風地区
コミュニティ委員会
(春風公民館)

One for All, All for One
子どもたちからの学びは尽きません

はるかぜの
たからばこ
春風自慢の人・もの・
場所などを紹介します!

上甲子園1丁目 添田 修次さん(77)

毎週日曜日、武庫川の河川敷で活動する「甲子園チビッ子ラグーズクラブ」の名誉会長・添田修次さんは、77歳になった今も現役バリバリで子どもたちにラグビーを教えています。日本で最も歴史のあるラグビークラブを率いてきた添田さんに、ラグビーの楽しさや子どもたちとの日々を聞きました。



若々しくてスポーツマンそのものです!

添田さんがラグビーを始めたのは鳴尾高校時代。大学では少林寺拳法部に入り、ラグビーは外部の同好会で楽しむ程度でした。しかし、友人で医師の故・大森騏一郎氏が「最近の子どもはすぐ風邪をひく」の一言から「では、子どもたちにラグビーを教えよう」と2人で一念発起。昭和42(1967)年に、鳴尾高校ラグビー部OB中心で「甲子園チビッ子ラグーズクラブ」を発足させました。以来、60年近く、毎週日曜日は幼稚園から中学生まで、幅広い年齢層の子どもたちと共に汗を流しています。当初は、まだ現在のような子ども専用ルールがなく、対戦する少年チームもないのでコーチ相手に練習試合をしていました。現在では西宮に3チーム、兵庫では20以上もチームが増えたので、添田さんはまさに先駆けといえそうです。



高校時代の添田さん (右から2人目)

「ラグビーは人間形成にもつてこいだと思っています。ぶつかり合うことで痛みが分かる。仲間を信じ、大事にする。足が遅くても背が低くても太っちょでも、それぞれが得意分野を生かしてチームをつくる。『One for All, All for One』1人はみんなのために、みんなは1人のために。私も大好きなラグビーの精神を象徴する言葉です」

子どもに教えることは本当に楽しいと語る添田さんですが、教えられることもまた多いそうです。

ある練習日のこと。出席をとった際、子どもが全員そろっていたので「ヨシ」と確認を終えたら、子どもから「○コーチがまだ来ていません」と指摘が飛んできました。「コーチも仲間の1人ですよ。子どもの方が広い視野を持っているなと思わず反省しています。」

また、小学生に巧みなステップを見せられ、「私でもできないな」と舌を巻いたり、最近では、能力の高い女子が増えたことに時代の流れを感じていそうです。トップリーグに進んだ子どもも少なくありませんが、基本は「苦手な子がうまくなること、元気になること」が大事だと語る添田さん。保護者から「友だちができなかった子が明るくなり、たくさん仲間ができました」と言われると、とてもうれしいと言います。

激しいですが、やってみると面白いスポーツです。「試合が終われば敵も味方もなく、健闘をたたえ合い、友情を深める『ノーサイドの精神』が芯にあるラグビーは、とても魅力的。私もまだまだボールのそばにいたいですね」



タックル指導に熱が入ります

公園へ行こう！2024

春風地域にある大きな公園では遊具の刷新が続きました。今回の「はるかぜ」版では、地域内の主立った公園の様子を紹介します。新緑の季節、お散歩がてら公園に出かけてみませんか！

瓦林公園

大きなグラウンドと、バラ園を併設した広々とした公園。昨年末から工事中だった新遊具が3月にオープンしました。色鮮やかな遊具と、緑に囲まれた公園の雰囲気にながみまますね。
〔「マイタウンピックアップ」でも瓦林公園の新遊具のことを取り上げています。併せてお読みください〕



「ジグザクアスレチック」と名付けられた新しい遊具



小さい子どもでも楽しめます



～先代の複合遊具～
たくさんお世話になりました！

昭和40年代の瓦林公園

懐かしのぞうさん・たこさん滑り台の周りを子どもたちが走り回っていました。当時は公園中央部に大きな花壇がありました。



写真提供
上甲子園1 阪田喜秋さん

春風公園

複合遊具が刷新されました。大人向けの運動具も併設されていますので、運動不足解消にトライしてみてください！



新しい遊具、わくわくできる滑り台ですね



通称“プリン山”も健在です



大人向けの運動具には解説が付いています

浦風公園

立派な藤棚が目印。町内会のイベントでは、いつもにぎわっています。



ホッと一息つける空間です



イベント時には子どもたちが走り回っています



浜田公園

中津浜線脇にある小さな公園ですが、いつもきれいに整備されていて、ホッとできる場所です。



道路脇の癒やし空間になっています

新鞆公園

国道沿いにありますが、木陰が広がりいつもひんやりしています。



夏はラジオ体操、秋には焼き芋など、町内会行事でにぎわいます



みんなで体操&爆笑

たくさん笑って健康に！
新春寄席 落語

笑いが一番「健康とユーモアを込めて！」と題した新春落語のイベントが1月27日、春風公民館で開催されました。

出演は、天満家新笑こと宮城新さん。元西宮市総合福祉センター事業課長、全国障害者スポーツ指導者協議会情報部会近畿ブロック会長です。素人ながら、その実力は「玄人はだし」で、各自自治体などに乞われ、健康につながる笑いの落語を提供しています。

この日の会場は満員御礼。参加者は、新笑さんの巧みな話術に引きつけられて熱気もムンムン。話を楽しむだけでなく、健康体操で体も動かさず、爆笑の連続に、心も体もポカポカした新春のスタートでした。

「おくやみコーナー」
西宮市に開設しています

家族が亡くなった際には、誰しも慌てるもの。そのような中、死亡に関する手続きは少ないため、西宮市では専門の窓口として本庁舎1階に「おくやみコーナー」を開設しています。

ここでは、亡くなられた後の市役所での手続きの説明、申請書の作成の手伝いなど、必要な手続きを円滑に行えるよう案内しています。

いざというときには、ぜひご利用ください。

【開庁時間】

午前9時～午後5時30分

(最終受付：午後4時30分)

*平日のみ(土、日、祝、年末年始を除く)

【問い合わせ】

西宮市役所

おくやみコーナー

0798・353001



地域でアピール!

告知や広告(有料)出しませんか?



介護施設や
飲食店
美容室
工務店
などの
宣伝に!



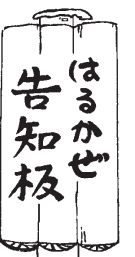
サークル仲間募集や
「こんなすてきな人
います!」など
紹介してください



問い合わせは



「宮っ子」まで



☆春風社協総会

日時 5月18日(土)13時30分

場所 春風公民館3階講堂

☆わがまちクリーン大作戦

日時 6月2日(日)9時

場所 各町会ごと

☆オープンスクール・参観日

春風幼稚園

「はるかぜ広場」

・未就園親子で2・3歳児

・5月スタート

・時間 9時15分～10時45分

*まずはお電話ください

【問い合わせ】26・6152

春風小学校 5月25日

(土曜参観に改名)

上甲子園中学校

5月14日～17日(予定)

☆ポイスカウト西宮第2団

スカウトまつり

日時 5月26日(日)

ビーバースカウト体験会

5月12日(日)芝滑り

6月16日(日)ザリガニ釣り

※カブスカウトでも随時体験受け付け中です

【問い合わせ】中島

090・4285・7761

編集手帳

阪神甲子園球場100周年に向けた告知看板が立っている。西宮市は、令和7年の市政100周年へ向けた取り組みをスタートさせた。

100年前をさかのぼってみると、ダイキン工業、タカラトミー、大林組など多くの企業が設立され、寿屋(現在のサントリー)が京都・山崎に日本初のウイスキー蒸留所を竣工させた大正13(1924)年。大正ロマンや大正デモクラシーなど、政治に関連する動きも起こった年だそう。この時代は昭和天皇の結婚や、日本で初めての天気図が新聞掲載されるなど活力が生まれる時代だったが、今の私たちもゆつくりだが、前向きに歩んで行こう。

葬儀社 ムラオ

代表 村尾和男

地域密着で真心込めてお世話させていただきます。

ご予算は15万円より承ります。

なんなりとご相談ください。

寝台車の手配も行います。(24時間、無休)

〒663-8165 西宮市甲子園浦風町1-13

TEL&FAX 0798-36-3627

携帯 090-5152-1690